

付記

(1) 動物実験施設部に収容する動物

動物種	微生物統御レベル
マウス	SPF動物を基本とするが、コンベンショナル動物も収容できる。
ラット	SPF動物のみ
サル	エボラウイルス(<i>Filoviridae</i>), マールブルクウイルス(<i>Filoviridae</i>), サルBウイルス (<i>Herpesviridae</i>), 結核、赤痢、赤痢アメーバ、サルモレラの感染が認められない個体
イヌ	狂犬病予防注射と畜犬登録を収容後に行う。
ハムスター	コンベンショナル動物として収容
モルモット	
スナネズミ	
ウサギ	
ネコ	
ブタ	
水生動物	
昆虫	
その他	

SPF 動物： Specific Pathogens Free Animals のこと。特定の病原微生物に感染していないことが明らかな動物。無菌動物ではない。

コンベンショナル動物： 微生物統御されていない動物。

(2) 動物実験施設部で用いている消毒薬と滅菌法

1. 消毒薬の設置場所

(1) 手指の消毒

マスキン	自動手指洗浄器に常備 (施設部入り口、廊下)
パコマ	実験室、飼育室に常備
クレゾール石鹼液	実験室、飼育室に常備
ヒビスクラブ	実験室、飼育室に常備

(2) 実験器具

70%アルコール噴霧	実験室、飼育室に常備 (SPF区域に持ちこむ機器はパスルームで噴霧) (中、大型機器は施設検疫担当者がパコマ500倍液で拭き取り後、パスルームで70%アルコール噴霧)
------------	---

(3) 実験用機器と器材など

70%アルコール噴霧	実験室、飼育室に常備
------------	------------

(4) 実験後の実験台や血液

70%アルコール噴霧	実験室、飼育室に常備
パコマふき取り	実験室、飼育室に常備

2. 消毒薬と成分

薬品名:	マスキン (丸石製薬)
成分:	グルコン酸クロルヘキシジン (0.5g/60%アルコール 100ml)
使用方法:	自動手指洗浄器で手指に噴霧

薬品名:	パコマ (エーザイ)
成分:	[モノ、ビス (塩化トリメチルアンモニウムメチレン)]-アルキル (C9-10) トルエン (50%溶液) 20g/100ml
使用方法:	500~1000倍溶液として使用

薬品名:	クレゾール石鹼液
成分:	日本薬局方クレゾール (C ₁₇ H ₈ O) の42-52%液
使用方法:	0.5~1.0%水溶液として使用

薬品名:	ヒビスクラブ (アイ・シー・アイファーマ)
成分:	グルコン酸クロルヘキシジンの4.0%液
使用方法:	無希釈で使用

薬品名:	70%アルコール
成分:	70%アルコール
使用方法:	噴霧

3. 機器・器材などの清掃・消毒のための方法（主に施設職員が関係する衛生管理）

（1）施設に常備されている機器と器材などの消毒

① 飼育用のケージ、金網、床敷

オートクレーブ滅菌（高圧蒸気滅菌、121℃、20分間）。

② 飼育用のラック

月曜～金曜日の毎日、清掃後にパコマ1000倍液による拭き取り掃除。

③ 自動給水装置

ア. マウス、ラット、ハムスターなどの自動給水装置については毎週1回管末および各ラック末端からタンク水を抜き、水道水を流して洗ったのちに給水を開始する。

イ. 年1回はラック部分の給水管をはずし洗浄室にて洗浄後70%アルコールを通して消毒し、その後に給水を開始する。

ウ. 必要に応じて塩素剤を添加する（タンク水残留塩素10PPMを目安）

④ 飼育用ケージ、床敷、ケージ用の金網

ア. マウス、ラット、ハムスターなどの床敷は一度オートクレーブ滅菌し、洗浄したケージに適量入れたのち、ケージごとオートクレーブ滅菌して使用する。

イ. ケージ用金網は洗浄後、オートクレーブ滅菌をして使用する。

ウ. ネコ、ウサギ、モルモット、ニワトリのケージは毎週1回洗浄後、オートクレーブ滅菌して使用する。

⑤ 動物の死体保管用冷凍庫

1F検収室で霜落としをしたあとパコマ500倍液による拭き取り清掃をする。6月、12月の年2回は定期とし、この間に血液などの汚れがある時には随時清掃する。

⑥ 薬浴槽

1F検収室の薬浴槽は動物の薬浴前に約1時間パコマ1000倍液を貯留させ、そのまま動物の薬浴を実施する。動物の薬浴後、水抜きし1%クレゾール石鹼液と熱湯で洗浄して次回の使用に備える。

⑦ 施設の廊下と壁

ア. 一般区域と管理区域は、日常的には毎週火曜日と金曜日の2回清掃業者（弘済美装）が清掃に入る。汚れた時には施設で随時清掃する。

イ. 血液などは70%アルコール噴霧後に拭き取り清掃をする。

ウ. S P F棟は毎週火曜日に施設で清掃する。汚れた時には随時清掃する。

エ. 更衣前室、更衣室： 毎週火曜日、施設で清掃し、汚れた時は随時清掃する。

オ. パスルーム：動物や物品の出入りが激しく汚れた時には随時、その他では毎日数回清掃と70%アルコールの噴霧を実施する。紫外線殺菌灯は常時点灯しておく。